

補助事業番号 19-1-001

補助事業名 平成19年度サイクルスポーツ施設の整備等補助事業

補助事業者名 財団法人日本サイクルスポーツセンター

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

スポーツを通じて国民の心身の健全な育成に資するため、サイクルスポーツを中心とする体育施設の整備や自転車競技の振興及びサイクルスポーツの普及に関する事業を実施し、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

ア. 自転車競技の振興事業

(ア) アジアサイクリングセンター運営事業

CCC(Continental Cycling Center)修善寺においては、国際自転車競技連合(UCI)支援事業及び国際オリンピック委員会(IOC)ソリダリティ事業として、オリンピック出場を目指すアジア各国の将来有望なトラック競技者及びそのコーチをCCC修善寺に集め、年2回、トレーニングキャンプを行った。

また、アジア自転車競技連盟(AGC)の協力のもと、CCC修善寺のコーチングスタッフを「AGCトラックアジアカップ2007タイラウンド」の開催地であるタイ・バンコクへ派遣し、移動サブセンターを開催した。更に大会視察等の機会には、引き続きポテンシャル調査並びにCCC修善寺のPRを行った。

これら事業を実施したことにより、CCC修善寺がUCIの提唱する自転車競技の振興と世界レベルで活躍できる自転車競技者の育成を目的とした「WCC(World Cycling Center)構想」の一翼を担うアジア地区の重要な拠点として、施設の充実を図るとともにその名を広くPRすることができた。

(イ) 自転車競技者層の拡大事業

関係諸団体の協力のもと、全国47都道府県52ヶ所の練習所において、国内における自転車競技者層の拡大・推進を図るため、練習所の運営に必要な指導並びに様々な支援活動を実施した。

また、CSC愛好会練習所において地元競輪選手の協力の下、競技初心者である愛好会会員に対して実技指導を行ったほか、平成19年8月よりMTB愛好会スクールも開始した。

これら事業を実施したことにより、自転車競技者層の底辺拡大と競技レベルの向上を図るとともに練習所の環境整備に努めた。

(ウ) 自転車競技大会の開催

5時間耐久チームサイクルロードレース大会を始め、トラック自転車競技大会、MTB大会を開催し、多数の参加者を受入れた。また、主催大会のほか、自転車競技大会並

びに合宿を積極的に受け入れた。

これら大会を開催したことにより、自転車愛好者の底辺拡大並びにサイクルスポーツの普及奨励に繋がった。

(エ) 施設の整備等事業

自転車競技振興事業を実施するために必要となる自転車競技・訓練用施設等に関して、健全な維持を図るための保守及び補修整備を実施した。

これら事業を実施したことにより、自転車競技者及び愛好者の安全かつ快適な利用環境の維持と経済的かつ長期的な活用を図ることができた。

(オ) 広報宣伝事業

自転車競技振興事業を実施するために必要となるロードサインや案内看板による広報宣伝活動を実施したことにより、自転車競技者及び一般にも広くCSCをPRできた。

(カ) トレーニング施設の整備費

多目的ホール(トレーニング施設)は、元室内プールであったため、塩素を含んだ結露及び経年劣化により各所に雨漏りが発生しているほか、冬場の冷え込みが厳しいなどトレーニング環境が万全ではなかったことから施設の改修並びに改善整備を実施した。

これら事業を実施したことにより、自転車競技者及び愛好者の安全かつ快適な利用環境の維持と経済的かつ長期的な活用を図ることができた。

イ. 自転車の普及促進事業

(ア) 自転車教室の開催

自転車に乗れない女性と小学生を対象に、CSC場内と各競輪場において自転車教室を開催し、自転車愛好者の底辺拡大を図るとともに競輪事業へのイメージアップに貢献することができた。

(イ) 自転車普及イベントの開催

ゴールデンウィークをはじめ各シーズンにサービスイベント及び自転車関連イベントを実施し、誘客促進を図るとともに来場者の自転車に対する理解と認識を高めた。

(ウ) 施設の整備等事業

自転車の普及促進事業に必要な自転車関連施設等に関して、健全な維持を図るための保守及び補修整備を実施した。

これら事業を実施したことにより、自転車競技者及び愛好者の安全かつ快適な施設を多くの来場者へ提供して、サイクルスポーツの普及奨励を図ることができた。

(エ) 広報宣伝事業

自転車の普及促進等事業に必要な広報宣伝活動については、ラジオ・新聞等への広告やチラシ等の印刷物の製作・配布、各種案内看板の掲出等時期をおって実施し、サイクルスポーツの普及奨励を図ることができた。

2. 予想される事業実施効果

ア. 自転車競技の振興事業

(ア) アジアサイクリングセンター運営事業

CCC(Continental Cycling Center)修善寺は、アジア地区の拠点としてとして日本選手を始めアジア各国から選手を受け入れ必要な訓練を行うことで、自転車競技の振興と世界レベルで活躍できる自転車競技者の育成を目的とした「WCC(World Cycling Center)構想」の更なる推進の一翼を担うものと期待される。

(イ) 自転車競技者層の拡大事業

自転車競技団体と連携を図り、一貫した訓練体制のもとで自転車競技に必要な指導者の育成並びに競技初心者への実技指導を実施することにより自転車競技者層の底辺拡大を図り、有望な競技者の発掘・育成ができるものと期待される。

(ウ) 自転車競技大会の開催

CSC主催及び各種団体主催による自転車競技大会を開催することにより、自転車競技愛好者の底辺拡大や青少年の健全育成並びにサイクルスポーツの振興と普及奨励にも繋がると思量される。

(エ) 施設の整備等事業

施設保守並びに施設整備事業を実施したことにより、安全で快適な施設の提供と健全な施設の運営が可能となり自転車競技者及び愛好者に対するサービスの向上に効果があるものと思量される。

(オ) 広報宣伝事業

各種広報宣伝活動を実施したことにより、自転車競技振興事業の効果的な展開が期待される。

(カ) トレーニング施設の整備

多目的体育館(多目的ホール)を整備したことで、自転車競技者を始め各種スポーツ団体や各種催事等多岐にわたって活用が期待される。

イ. 自転車の普及促進事業

(ア) 自転車教室の開催

自転車に乗れない女性と小学生を対象とした自転車教室を開催することにより、自転車愛好者の底辺拡大並びにスポーツ振興に寄与できるものと思量される。

(イ) 自転車普及イベントの開催

自転車に特化したイベントを開催することにより、スポーツの振興と自転車の普及奨励にも繋がると思量される。

(ウ) 施設の整備等事業

施設保守並びに施設整備事業を実施したことにより、安全で快適な施設の提供と健全な施設の運営が可能となり、来場者に対するサービスの向上に効果があるものと思量される。

(エ) 広報宣伝事業

時期をおって各種広報宣伝活動を実施したことにより、サイクルスポーツの普及奨励に繋がるものと思量される。

3. 本事業により作成した印刷物

ア. 自転車競技の振興事業

印刷物名	サイズ	作成枚数
MTB指導者用テキスト	A4 三つ折	3,000 枚
自転車競技愛好会パンフレット	594×420 mm	5,000 枚

イ. 自転車の普及促進事業

印刷物名	サイズ	作成枚数
イベントチラシ(GW、夏、秋、正月、春)	A4	2,092,000 枚
イベントポスター(GW、夏、秋、正月、春)	B3	7,095 枚
第3回伊豆サンタマラソンポスター	B3	500 枚
総合パンフレット(修正再版)	A4 三つ折	60,000 部
施設案内チラシ割引券付(修正再版)		185,000 枚
ダイジェストパンフレット(修正再版)	A4 二回折	150,000 部
印刷物名	サイズ	作成枚数
宿泊及び施設利用促進案内チラシ	A4	2,000 枚
合宿・研修案内チラシ(修正再版)	A4	3,000 枚
秋のYFC フェスティバル専用招待券	180×80 mm	300,000 枚
炊飯体験施設(DAY キャンプ) 利用案内チラシ	A4	20,000 枚
大学生向け施設案内チラシ	A4	5,000 枚
営業案内(商品ガイド)	A3 二つ折	3,000 枚
自転車の知識(再版)	A5 冊子	200 冊

4. 事業内容についての問い合わせ

団体名：財団法人日本サイクルスポーツセンター
住所：410-2402 静岡県伊豆市大野 1826 番地
代表者名：会長 阿部 毅一郎(アベ キイチロウ)
担当部署：総務部財務課(ソウムブザイムカ)
担当者名：財務係長 土屋 博良(ツチヤ ヒロヨシ)
電話番号：0558-79-0006
F A X：0558-79-0908
E-mail：<mailto:csczaimu@mail.wbs.ne.jp>
U R L：<http://www.csc.or.jp>